

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 : 魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや
 基本目標 1いつでも健康

事業評価
 ◎: 計画の目標を達成した
 ○: 概ね計画を達成した
 △: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業評価	評価の理由・課題																																																		
(1) 健康の保持・増進	① 健康診査	特定健診は、心臓病・脳卒中などの生活習慣病の早期発見や重症化予防、健康増進のために、集団健診・個別健診(開業医)を行っています。その他の検診は、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がんの6種類のがん検診と、骨密度測定を行っています。	・特定健診は、40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者 ・がん検診は40歳以上(子宮頸がんは20歳以上)の住民 ・婦人がん(乳・子宮頸)検診は2年に1回の受診です。 ・前立腺がんは、50歳以上の男性、骨密度測定は、40歳から5歳きざみで70歳までが対象となっています。	(健康・こども課係)	・受診への意識付けが行えるような効果的な勧奨方法について検討していく。 ・勧奨者の優先順位を考えて対象者へ有効な働きかけを行う。 ・健診で検査データが悪い対象者を、早期に医療へつなげていく。 ・保健指導の資質向上のため、研修へ積極的に参加するなど引き続き研鑽を積んでいく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">目標</th> <th colspan="2">実績</th> </tr> <tr> <th>受診者数(人)</th> <th>受診率(%)</th> <th>受診者数(人)</th> <th>受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診</td> <td>935</td> <td>34.0</td> <td>801</td> <td>30.4</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>637</td> <td>14.0</td> <td>484</td> <td>10.4</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>637</td> <td>14.0</td> <td>507</td> <td>10.9</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>637</td> <td>14.0</td> <td>462</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>876</td> <td>24.0</td> <td>561</td> <td>19.4</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>876</td> <td>24.0</td> <td>400</td> <td>12.0</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん検診</td> <td>221</td> <td>14.0</td> <td>188</td> <td>11.7</td> </tr> <tr> <td>骨密度測定</td> <td>196</td> <td>14.0</td> <td>190</td> <td>14.4</td> </tr> </tbody> </table> ・子宮頸・乳がん健診の受診率 受診率=(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」)÷「当該年度の対象者数」×100 ・受診への意識付けが行えるようにハガキの送付回数を1回から3回に増やし、ポスターを役場のトイレや病院や公共施設に貼る等勧奨方法を見直したが、前年度の受診率より1.8ポイント上昇したものの目標受診率には届かなかった。 ・骨密度測定は、5年に1回の測定ということもあり、優先度を高く考え全対象者への個別のはがき勧奨を実施した。周知が徹底でき目標を達成することができた。 ・がん検診については、胃カメラ・乳・子宮頸がんの対象者への個別のはがき勧奨を実施したが、効果が現れず目標達成できなかった。 ・健診でデータが悪かった66人については、早期に医療につなげ、生活習慣を見直すことで、重症化予防を図った。 ・研修会参加:保健指導従事者学習会他、11回/年 延23人参加した。	平成29年度	目標		実績		受診者数(人)	受診率(%)	受診者数(人)	受診率(%)	特定健診	935	34.0	801	30.4	胃がん検診	637	14.0	484	10.4	肺がん検診	637	14.0	507	10.9	大腸がん検診	637	14.0	462	10.0	乳がん検診	876	24.0	561	19.4	子宮頸がん検診	876	24.0	400	12.0	前立腺がん検診	221	14.0	188	11.7	骨密度測定	196	14.0	190	14.4	△	○評価の理由 ・受診勧奨のため様々な働きかけを行ったが、結果として、目標の受診率を達成することができなかったため。(骨密度測定のみ目標達成) ○課題 ・未受診者対策として勧奨方法を検討したが、目標には至っていないため、啓発内容や勧奨方法を検討すること。
	平成29年度	目標		実績																																																					
		受診者数(人)	受診率(%)	受診者数(人)	受診率(%)																																																				
特定健診	935	34.0	801	30.4																																																					
胃がん検診	637	14.0	484	10.4																																																					
肺がん検診	637	14.0	507	10.9																																																					
大腸がん検診	637	14.0	462	10.0																																																					
乳がん検診	876	24.0	561	19.4																																																					
子宮頸がん検診	876	24.0	400	12.0																																																					
前立腺がん検診	221	14.0	188	11.7																																																					
骨密度測定	196	14.0	190	14.4																																																					
② 健康相談	健診結果は、説明日を設けて、保健師が一人ひとりに結果の説明や生活指導、栄養士が栄養指導を行います。また、国民健康保険高齢受給者証交付時や健康教室等でも、保健師、栄養士等が健康相談を行っています。健康に関する相談は、随時役場窓口で受け付けています。	健診の受診者、健康教室・介護予防教室等事業の参加者	(健康・こども課係)	・相談の内容によっては、個室で対応するなど、プライバシー保持に十分配慮し、相談しやすい環境を整える。	健康相談 <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成29年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数(回)</td> <td>80</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>参加人員(人)</td> <td>1,400</td> <td>1,539</td> </tr> </tbody> </table>	平成29年度	目標	実績	実施回数(回)	80	110	参加人員(人)	1,400	1,539	○	○評価の理由 ・実施回数、参加人員ともに目標を上回ったため。 ○課題 ・健康教室や結果説明会等以外の場でも、健康に興味・関心を持ってもらうため、個別での電話や手紙を送付する等の相談の機会を増やす必要がある。																																									
平成29年度	目標	実績																																																							
実施回数(回)	80	110																																																							
参加人員(人)	1,400	1,539																																																							
③ 健康教育	疾病予防や健康増進、健康づくりへの意識啓発のため、テーマを設けて各種教室や講演会を開催しています。	40歳以上の住民(教室によって年齢制限有り)	(健康・こども課係)	・新規参加者獲得のための勧奨方法について検討していく。 ・新規参加者を増やすために継続参加者の受け入れ(人数・継続年数等)について検討していく。 ・継続参加者の自主運営化について検討していく。	健康教育 <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成29年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数(回)</td> <td>60</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>参加人員(人)</td> <td>1,300</td> <td>2,157</td> </tr> </tbody> </table>	平成29年度	目標	実績	実施回数(回)	60	86	参加人員(人)	1,300	2,157	○	○評価の理由 ・各種教室や講演会等で、実施回数、参加人数ともに目標値を大きく上回った。実施回数については新規に食生活改善推進員養成講座の実施や出前講座の利用回数増により、増加傾向である。 ・継続参加者の自主運営化については、一部自主運営化を図ることができたため。 ○課題 ・特定保健指導対象者や重症化予防対象者など指導が必要な人の参加者が少ないこと。 ・リピーター率が高く、新規の参加者が少ないこと。																																									
平成29年度	目標	実績																																																							
実施回数(回)	60	86																																																							
参加人員(人)	1,300	2,157																																																							

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 : 魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや
 基本目標 1いつでも健康

事業評価
 ◎: 計画の目標を達成した
 ○: 概ね計画を達成した
 △: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業評価	評価の理由・課題													
(1) 健康の保持・増進	④ 訪問指導	特定健診未受診者への受診勧奨、健診結果の説明及び生活習慣病予防の指導のために訪問を実施しています。高齢者には、一人暮らし高齢者等の安否確認や福祉サービスの調整等の訪問を行っています。	健診未受診者、健診結果の説明や指導が必要な人、一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯等	(健康づくり係・子ども課・高齢者福祉課)	◆健康・子ども課 健康づくり係 ・特定健診勧奨訪問は行う。訪問結果により訪問を継続するか別の勧奨を行うのかを検討する。 ◆福祉課 高齢者支援係 ・高齢者生活アンケート(福岡県介護保険広域連合実施)に基づき訪問指導を行い、高齢者の実態の把握を継続して行っていく。(H29年度から全対象者を1/3に分け、3年間で全対象者に実施していく)	訪問指導 <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数(件)</td> <td>2,260</td> <td>1,169</td> </tr> <tr> <td>閉じこもり予防(件)</td> <td>10</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>要指導者(件)</td> <td>1,860</td> <td>1,009</td> </tr> </tbody> </table>	平成 29 年度	目標	実績	総数(件)	2,260	1,169	閉じこもり予防(件)	10	23	要指導者(件)	1,860	1,009	健康・子ども課 健康づくり係 △ 福祉課 高齢者支援係 ○	○評価の理由 ◆健康・子ども課 健康づくり係 ・新たに圧着ハガキ等での勧奨を実施したが、目標数値に至らなかったため。 ・母子の訪問については、計画どおり実施できた。 ◆福祉課 高齢者支援係 ・訪問調査をすることで、高齢者の実態を把握することができ、支援が必要な人へのフォローを行うことができた。 ○課題 ◆健康・子ども課 健康づくり係 平成29年度は訪問勧奨により特定健診受診へ結びついた人数は52人で、訪問した人数の4.2%であった。しかし、特定健診受診率の約2%程度になるため、訪問は今後も重要だと考える。対象者の受診パターン等を分析し、訪問の勧奨方法を見直す必要がある。 ◆福祉課 高齢者支援係 ・訪問の基礎となる高齢者生活アンケートの回収率が上がらないこと。
	平成 29 年度	目標	実績																	
総数(件)	2,260	1,169																		
閉じこもり予防(件)	10	23																		
要指導者(件)	1,860	1,009																		
⑤ 高齢者の予防接種	予防接種の助成を行うことにより、インフルエンザウイルスや肺炎球菌に感染して、死亡または重症化することを予防します。	●高齢者インフルエンザ予防接種 65歳以上の人及び60歳以上65歳未満の人で、心臓、腎臓、呼吸器に障がいのある人、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいがある人で医師が接種を必要と認めた人。 ●高齢者肺炎球菌予防接種 その年度中に次の年齢に達する人(65・70・75・80・85・90・95・100歳)または60歳以上65歳未満の人で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいがある人で医師が接種を必要と認めた人。	(健康づくり係・子ども課)	・例年どおり、予防接種が始まる4月と10月にあわせ広報で周知を行う。また、医療機関に予防接種啓発に関するポスターを提示するよう依頼する。	高齢者インフルエンザ予防接種 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29 年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接種者(人)</td> <td>2,440</td> <td>2,290</td> </tr> </tbody> </table> 高齢者肺炎球菌予防接種 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29 年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接種者(人)</td> <td>520</td> <td>553</td> </tr> </tbody> </table>	H29 年度	目標	実績	接種者(人)	2,440	2,290	H29 年度	目標	実績	接種者(人)	520	553	○	○評価の理由 ・インフルエンザ予防接種については、目標値には至らなかったが、肺炎球菌予防接種については勧奨ハガキや広報等で年に数回勧奨を行い目標値を上回ったため。 ○課題 ・インフルエンザ接種率の向上につながるよう老人憩いの家を訪れ、チラシを配布する等アウトリーチの手法を含めて、勧奨方法の充実を図る必要がある。	
H29 年度	目標	実績																		
接種者(人)	2,440	2,290																		
H29 年度	目標	実績																		
接種者(人)	520	553																		

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 :魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや
基本目標 1いつでも健康

事業評価
◎: 計画の目標を達成した
○: 概ね計画を達成した
△: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所属課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業評価	評価の理由・課題	
② 介護予防の推進	① 介護予防把握事業	加齢、疾病、環境の変化、精神的要因等による生活機能低下が見られる高齢者は、次の情報に基づいて把握します。 ●基本チェックリストによる評価(65歳以上の要介護認定者を除く) ●次の機関等と連携を図り情報を得ます。・介護保険広域連合の認定担当部局・特定健診や訪問活動を行っている健康づくり係保健師・医療機関や社会福祉協議会、民生委員等地域住民・本人、家族・関係機関、主治医、民生委員など・本人、家族、地域住民など	65歳以上の要介護認定を受けていない人	福祉課(高齢者支援係)	・平成28年、平成29年度に実施の高齢者生活アンケート(福岡県介護保険広域連合実施)をもとに訪問優先者(未提出者、とじこもり・うつ・認知者に該当する人)に対して訪問を実施し、状況の把握と介護予防につなげる支援を行う。 ・高齢者生活アンケート(福岡県介護保険広域連合実施)の未提出者の訪問を実施する。	○	○評価の理由 ・リスクの高い人を優先して、訪問調査を実施した。 ・高齢者の実態を把握し、支援が必要な人には地域包括支援センターから社会資源の情報提供や指導を行った。 ○課題 ・未提出者の状況把握が十分にできないこと。	
	② 介護予防普及啓発事業	介護予防の基本的な知識等を普及啓発するため、各種教室等を実施します。 ●筋力アップ教室 運動機能の維持向上を中心に栄養と口腔に関する講話を組み込んだ、総合的な介護予防教室 ●歯つらつ健口講座 誤嚥性肺炎の予防や口腔機能の重要性を学ぶ口腔ケアに関する教室 ●自治区体操教室 身近な地域で誰でも参加できるように、自治区公民館で実施される体操教室 ●いきいき昼食会 地区公民館や自治区公民館で、介護予防に関する講話と栄養バランスの取れた昼食の試食	●65歳以上の歩行に不安がある人で要介護認定を受けていない人(いきいき筋力アップ教室) ●おおむね65歳以上の人(その他介護予防教室)	福祉課(高齢者支援係)	<介護予防教室実施予定回数> ・自治区公民館体操教室 新規(3自治区)1コース各13回 継続(13自治区)各12回(月に1回) ・いきいき昼食会 8回 ・脳いきいき教室 1コース12回(9~11月)	介護予防教室 平成29年度 参加延人員(人) 2,440 参加実人数(人) 390 目標 2,673 実績 482 ・自治区公民館体操教室(新規・継続) 191回 2,348人(実334人) ・いきいき昼食会 7回 127人 ・脳いきいき教室 12回 198人(実21人) ※いきいき筋力アップ教室は、通所型サービスC事業を開始したため、廃止した。	◎	○評価の理由 ・参加延人員及び実人数が目標を上回ったため。 ○課題 ・自治区公民館体操教室の自主運営化をすすめていくために、継続した動機付けが必要である。 ・各事業の参加者を増加させていくための周知方法等を見直していく必要がある。
	③ 地域介護予防活動	地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行います。 ●自治区体操教室ボランティア養成教室	●自治区区民間体操教室で体操指導をボランティアで行える人 ●おおむね65歳以上の人	(高齢者支援係) 福祉課	・ボランティア指導者が各自治区で活動しやすいような支援方法を検討し実施する。 ・ボランティア指導者へ定期的にフォローアップ講座を実施する。	・体操サポーター養成講座を開催した。 初級コース(8回):参加者9人(延べ49人) 修了生コース(5回):参加者19人(延べ75人) ・ボランティア(体操サポーター)が活動しやすいように、サポーター着用ベストを作成し、配付にむけたアンケートを実施した。(44人に発送し、33人回収) ※自治区公民館体操教室ボランティア養成講座から体操サポーター養成講座へ名称を変更。	○	○評価の理由 ・計画どおりに実施することができた。 ・アンケート結果では、参加者の9割以上が講座の内容が役立つものであった、また参加したいという回答になっており満足度を得ている。 ○課題 ・自治区公民館体操教室が自主的に運営できるよう、体操サポーターを増加するとともに、活動しているサポーターの声を聞きながら、活動を支援していく必要がある。

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 :魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや
 基本目標 1いつでも健康

事業
評価

◎: 計画の目標を達成した
 ○: 概ね計画を達成した
 △: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業 評価	評価の理由・課題	
(2) 介護予防の推進	④ 一般介護予防事業評価事業	一般介護予防事業が、適切かつ効果的に実施されたか検証を行います。	一般介護予防事業参加者	福祉課(高齢者支援係)	・実施する介護予防教室において、アンケートを実施し、評価・見直しを行う。 ・教室参加修了者に向けたアンケート調査を実施し事業評価を行う。 ・公民館体操教室で、体力測定など参加者に対し、効果測定の結果のデータを提供し、介護予防の重要性を伝える。	・実施した介護予防教室において、事後アンケートを取り、教室の満足度や理解度の把握を行い、各種事業の評価を行った。 ◎評価を行った事業 ・自治区公民館体操教室 ・体操サポーター養成講座 ・いきいき昼食会 ・脳いきいき教室 ・自治区公民館体操教室(新規)にて、参加者に体力測定を実施し、効果測定としてデータを提供した。	○	○評価の理由 ・各事業でアンケート等を実施し、効果的に事業を実施できたか検証を行ったため。 ○課題 ・参加者に対して、事業の効果測定を行うとともに、介護予防意識の定着度合いを把握するためのアンケートを実施し、各事業が充実していくよう、随時見直しを行っていく必要がある。
	⑤ 地域リハビリテーション活動支援事業	介護保険法改正により、平成29年4月までに開始する新規の事業です。介護予防の取組を機能強化するため、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の活用を進めるものです。	高齢者	福祉課(高齢者支援係)	・専門職確保など今後に向けて検討していく。	・住民主体の通いの場である「地域交流サロン」の3地区に歯科衛生士(専門職)を派遣し、講話を実施した。	△	○評価の理由 ・地域ケア会議や訪問、通所などの事業へのリハビリテーション専門職等の活用には至っていないため。 ○課題 ・効果的な介護予防の取り組みを進めるため、専門職を活用し住民理解を進めること。

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 :魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや
 基本目標 2 いきいき生活

事業評価

◎: 計画の目標を達成した
 ○: 概ね計画を達成した
 △: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業評価	評価の理由・課題																	
① 配食サービス	在宅の一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などに対し、ボランティア等の協力を得て、配食サービスを提供することで、高齢者の自立と生活の質の確保を図ります。また、安否確認を兼ねて、本人に手渡して届けています。	65歳以上の一人暮らし高齢者の世帯、高齢者のみの世帯、障がい者世帯で、調理が困難、または健康管理上、配食が必要な人。	福祉課(高齢者支援係)	・各運動教室や広報等でボランティア募集の周知をする。 ・配食サービスの実施内容、運営方法について、社会福祉協議会と調整を図り、検討していく。	配食サービス <table border="1"> <tr> <th>平成29年度</th> <th>見込み</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>登録者数(人)</td> <td>111</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>延配食数(食)</td> <td>8,880</td> <td>7,626</td> </tr> </table> ・社協と八朔の会と3者協議を実施し、現状の把握を行ったが、教室や広報等でボランティア募集の周知は行っていない。	平成29年度	見込み	実績	登録者数(人)	111	112	延配食数(食)	8,880	7,626	△	○評価の理由 ・現状把握は行ったが、ボランティア募集の周知ができなかったため。 ○課題 ・高齢者独居世帯、高齢者のみ世帯の増加が見込まれることから、配食サービスの実施回数について、利用者のニーズを把握する必要がある。								
						平成29年度	見込み	実績																
						登録者数(人)	111	112																
						延配食数(食)	8,880	7,626																
						② 緊急通報装置貸与	虚弱な一人暮らしの高齢者及び重度身体障がい者等に対し、緊急時にボタンを押すことで消防署へつながる緊急通報装置を貸与することにより、急病や災害などの緊急時に迅速かつ適切な対応を図ります。	緊急時における連絡手段の確保が困難な人であって、おおむね65歳以上の虚弱な一人暮らし高齢者及び寝たきり高齢者、またはこれに準ずるものを抱える高齢者のみの世帯。	福祉課(高齢者支援係)	・民生委員への説明や広報などでの周知を行い必要な人が利用できるようにしていく。	緊急通報装置貸与 <table border="1"> <tr> <th>平成29年度</th> <th>見込み</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>新規設置人数</td> <td>8</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>実設置人数</td> <td>52</td> <td>40</td> </tr> </table> ・民生委員の説明や広報などで周知した。	平成29年度	見込み	実績			新規設置人数	8	4	実設置人数	52	40	○	○評価の理由 ・実施要綱に基づき、調査を実施し、サービスを提供した。 ○課題 ・事業を住民に認知してもらうため、広報紙やホームページ、また民生委員等を通じた広報に注力していく必要がある。
平成29年度	見込み	実績																						
新規設置人数	8	4																						
実設置人数	52	40																						
③ 救急医療情報キット	救急医療情報キットを給付することにより、高齢者が急病で倒れた時等に、緊急でかけつけた人や消防署職員が、医療情報や緊急連絡先を把握することができ、迅速かつ適切な対応を図るものです。	おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯、一人暮らし身体障がい者またはこれに準ずる人。	福祉課(高齢者支援係)	・年に1度の広報の掲載時に、利用者の医療情報など変更の更新についての内容を追加する。 ・民生児童委員協議会で周知をはかる。	緊急医療情報キット <table border="1"> <tr> <th>平成29年度</th> <th>見込み</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>新規配布個数(個)</td> <td>50</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>延配布人数(人)</td> <td>955</td> <td>924</td> </tr> </table> ・年に1度の広報の掲載、民生児童委員協議会で周知した。							平成29年度	見込み	実績	新規配布個数(個)	50	49	延配布人数(人)	955	924	○	○評価の理由 ・周知により、必要な人に配布されたため。 ○課題 ・カードの内容は、各個人で追加訂正をお願いしているため、役場が保管している情報と内容が変わっている人もいる。カード内容の更新について引き続き周知する必要がある。		
						平成29年度	見込み	実績																
						新規配布個数(個)	50	49																
						延配布人数(人)	955	924																
						④ 介護用品給付サービス	在宅の高齢者等でおむつを必要としている人に対し、在宅介護を支援する介護用品として、非課税世帯は5,000円、本人のみ非課税者は3,000円を限度として、紙おむつを給付することにより、高齢者等の生活の質の向上を図り、その家族の身体的、精神的及び経済的な負担の軽減を図ります。	おおむね65歳以上の要介護認定者もしくは要支援者であって、在宅で紙おむつを必要とする人。	福祉課(高齢者支援係)	・広報あしや、サービスガイド、民生児童委員、ケアマネジャー、事業者連絡会などへ周知を継続する。	介護用品給付サービス <table border="1"> <tr> <th>平成29年度</th> <th>見込み</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>56</td> <td>50</td> </tr> </table> ・サービスガイド、民生委員、ケアマネ、事業者等連絡会へ周知した。	平成29年度	見込み	実績	利用者数(人)	56	50	○	○評価の理由 ・新規申込者にこのサービスを知ったきっかけを平成29年度調査した結果、新規利用者15人のうちケアマネ8人、サービスガイド5人、人から聞いた2人、以前利用していた1人となり、ケアマネ・サービスガイドによる周知の効果を確認することができた。 ○課題 ・事業を住民に認知してもらうため、広報紙やホームページ、また民生委員等を通じた広報に注力していく必要がある。					
平成29年度	見込み	実績																						
利用者数(人)	56	50																						
⑤ 軽度生活援助サービス	在宅の一人暮らしの高齢者等が自立した日常生活を送れるよう、家庭内の軽易な作業の援助を行います。主な作業内容は、ホームヘルパーによる家事援助、家周りの手入れ、家屋内の軽微な修繕や整理整頓等です。事業は社会福祉協議会に委託しています。	日常生活の援助が必要なおおむね65歳以上の一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる市町村民税非課税世帯の高齢者で、家族等の支援が得られない人。また、ホームヘルパーによる家事援助の利用は、介護認定で自立と認定された高齢者で日常生活に援助が必要な人。	福祉課(高齢者支援係)	・広報あしや、サービスガイドでケアマネジャーなどへサービスの周知を継続する。	軽度生活援助サービス <table border="1"> <tr> <th>平成29年度</th> <th>見込み</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延利用時間数(時間)</td> <td>60</td> <td>12</td> </tr> </table> ・サービスガイド、ケアマネ、事業者等連絡会へ周知した。 ※平成28年度から総合事業を開始したことにより、ホームヘルプ事業は廃止した。							平成29年度	見込み	実績	利用者数(人)	10	2			延利用時間数(時間)	60	12	○	○評価の理由 ・実施要綱に基づき、調査を実施し、サービスを提供した。 ○課題 ・2件の実績はどちらもケアマネを通しての依頼であったことから、ケアマネ、事業者等連絡会での周知の継続を行い、必要な人に必要なサービスを提供すること。
												平成29年度	見込み	実績										
						利用者数(人)	10	2																
						延利用時間数(時間)	60	12																

(1) 在宅生活の支援

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 :魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや
 基本目標 2 いきいき生活

事業評価

◎: 計画の目標を達成した
 ○: 概ね計画を達成した
 △: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業評価	評価の理由・課題								
(1) 在宅生活の支援	⑥ 寝具洗濯サービス	在宅の高齢者等に対し、寝具の衛生管理のための洗濯、乾燥、消毒のサービスを行うことにより、清潔で快適な生活の確保を図るとともに、介護者の負担を軽減するものです。	要介護2以上と認定された、おおむね65歳以上の高齢者及び身体障がい者で、老衰、心身の障がい及び傷病等の理由により、寝具類の衛生管理が困難な人。	福祉課(高齢者支援係)	<ul style="list-style-type: none"> 寝具洗濯メニューに、現行の敷布団・掛布団・毛布一式に加え、新規にマットレス、ベッドパットを追加する。 サービスの周知をチラシ配付、広報あしやで行う。 	寝具洗濯サービス <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>見込み</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> </table>	平成 29 年度	見込み	実績	利用者数(人)	7	5	○	○評価の理由 ・実施要綱に基づき、調査を実施し、サービスを提供した。 ○課題 ・利用対象者に対し、利用実績が著しく少ない状況にあり、周知方法を検討する必要がある。	
	平成 29 年度	見込み	実績												
	利用者数(人)	7	5												
	⑦ 住宅改造助成事業	高齢者の在宅生活の利便性を向上させるため、住宅改造にかかる費用の一部(上限額30万円)を助成することにより、自立を促進します。	町民税非課税の世帯で、介護保険の要介護認定において要支援以上の認定を受けた人及び身体障害者手帳1・2級所持者等の人。	(高齢者福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネージャー、サービスガイド等で事業の周知を継続して行う。 	住宅改造助成事業 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>見込み</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </table>	平成 29 年度	見込み	実績	利用者数(人)	2	0	○	○評価の理由 ・ケアマネージャー、サービスガイド等で周知したが、利用はなかった。 ○課題 ・必要な人が適切なサービスとして利用できるよう、ケアマネやサービスガイドの配布等で周知を継続していく必要がある。	
	平成 29 年度	見込み	実績												
利用者数(人)	2	0													
⑧ 家族介護教室	介護をしている家族や介護に興味がある人を対象に、食事や排泄の世話や移動の介護についての講話や実習を行います。	一般	福祉課(高齢者支援係)	<ul style="list-style-type: none"> 認知症家族介護教室を定期的に開催する(4回/年) 認知症家族介護教室と連携しながら、認知症家族の会発足(住民主体)の支援を行う。 	認知症家族介護教室を開催した。(年4回) 参加者数:6人(延べ16人) 座談会形式を中心とし、悩みや思いを話せる場作りを行った。 ・民間組織として「認知症家族の会 あしや」が6月に発足し、立ち上げ運営支援を行った。	○	○評価の理由 ・参加者数は少ないが、介護者同士の交流の場となっており、介護者家族の心理的負担の軽減につながった。 ○課題 ・在宅で認知症の人を介護している人は多くいると考えられるが、教室への参加者は少ない。教室だけが支援方法ではないが、1人で悩んでいる人の把握方法や、支援方法を検討することが必要である。								
(芦屋町社会福祉協議会)	在宅で、寝たきり高齢者や認知症高齢者を介護している人を対象に、介護者のニーズ把握、介護者交流事業、家族介護経験者による相談、学習事業等を行います。	自宅で高齢者等を介護している人。	芦屋町社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 今後の事業の方向性を検討する。 	・「認知症家族の会 あしや」が住民主体で組織化され、2ヶ月に1回の定例会には社会福祉協議会の職員が参加した。 ・福岡県社協の実施する「歳末たすけあい募金配分金・在宅介護者の会助成事業」の申請を行い、活動財源として支援を行った。 ・「認知症家族の会 あしや」が組織化されたことから、30年度から会の定例会の出席や財政支援などの活動支援を行うこととし、社会福祉協議会として家族介護者の会事業として実施することとした。	△	○評価の理由 ・家族介護者に係る事業は実施できなかった。 ・新しく「認知症家族の会 あしや」の発足・組織化に対し、支援を行った。								
(芦屋町社会福祉協議会)	在宅の高齢者に対し、特殊寝台、腰掛便器、車椅子を貸与することにより、高齢者の福祉向上と日常生活の自立支援を図り、同時に介護家族の介護負担軽減を図ります。 貸与品:車いす・ポータブルチェア・シャワーチェア	在宅の虚弱及び寝たきりの高齢者。	芦屋町社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子・ポータブル便器・シャワーチェアの貸与を行う。 広報などの掲載に加え、社会福祉協議会の活動の中で、必要な人への周知を図っていく。 	日常生活用具貸与 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>貸与件数</th> </tr> <tr> <td>車椅子</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>ポータブルトイレ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>シャワーチェア</td> <td>3</td> </tr> </table>	平成 29 年度	貸与件数	車椅子	31	ポータブルトイレ	0	シャワーチェア	3	○	○評価の理由 ・実施要綱に基づき、調査を実施し、サービスを提供した。 ○課題 ・引き続き、広報等で周知を行っていく必要がある。
平成 29 年度	貸与件数														
車椅子	31														
ポータブルトイレ	0														
シャワーチェア	3														

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 :魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや
 基本目標 2 いきいき生活

事業評価
 ◎: 計画の目標を達成した
 ○: 概ね計画を達成した
 △: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業評価	評価の理由・課題
① 巡回バス事業	高齢者、障がい者の生活交通を確保するため、また社会活動における移動手段として、町内を巡回するバスを運行しています。	60歳以上の人や障害者及びその介助者	環境住宅課(地域振興・交通係)	・公共交通網の再編検討 ・芦屋町地域公共交通網形成計画に基づき事業を進めている。	・芦屋中央病院の移転に伴い、平成30年3月1日から巡回バスの路線・時刻表の見直しを実施した。 ※29年度利用者数 33,864人 (1日平均111人) 306日稼働	○	○評価の理由 ・当初の計画どおりに実施することができたため。 ○課題 ・公共交通網の再編にあたり、有償バス路線と競合している路線を配慮しながら、巡回バス路線の検討をしていく必要がある。
	② 建物・道路などのバリアフリー化	公共施設については、高齢者や障がい者が利用しやすいように手すりの設置、段差の解消を図るもので、道路についても同じく段差の解消、点字ブロック等の設置により、安心安全な取組を順次進めています。	一般	全庁	・新後水団地建設(バリアフリー住宅)平成29年度着工 ・順次、町営住宅にエレベーターを設置していく(設置可能な町営住宅に限る)	○	○評価の理由 ・新後水団地がH29年度に計画どおり着工したため。 ○課題 ・既存町営住宅は構造上、バリアフリーとすることは難しい。
	③ 介護予防・生活支援	要支援者等の多様な生活支援のニーズに対応するため、指定介護事業者が行なう介護予防訪問介護等のサービスに加え、住民主体の支援等も含め多様なサービスを、介護予防・生活支援サービス事業の対象とします。 ・訪問型サービス…掃除、洗濯等の日常生活上の支援を提供 ・通所型サービス…機能訓練や集いの場など日常生活上の支援を提供 ・その他の生活支援サービス…栄養改善を目的とした配食やひとり暮らし高齢者等への見守りを提供 ・介護予防ケアマネジメント…総合事業によるサービス等が適切に提供できるようケアマネジメントを実施 この事業は、平成27年4月から遅くとも29年4月までに、現在の介護予防給付から変更、開始することとなっています。	要支援認定者及び介護予防・日常生活支援(総合事業)対象者	福祉課(高齢者支援係)	・通所型サービスC事業を6月から実施する。 ・生活支援を行う住民主体団体の立ち上げ支援 ・住民の支えあい、地域福祉に関する意識の啓発及び醸成をはかる。	【通所型サービスC事業】 ・運動機能の向上を図る通所型サービスC事業を6月から実施した(2人利用)。 【生活支援体制整備】 ・高齢者等に対する生活支援を行う住民団体の助けあいグループとして、30年3月に「あしや支えあい・助けあいの会」が組織された。立ち上げにあたり、準備会組織での協議などを社会福祉協議会とともに支援した。 ・地域が抱える問題や地域のつながりづくりの大切さについて、地域住民、ボランティア活動者、専門職などが一体的に住民主体の助けあいによる地域づくりを進めることを目的に11月に地域福祉フォーラムを開催し、「あしや支えあい・助けあいの会」の組織化に寄与することができた。 ・広報あしやに毎月地域での支えあいの重要性、各サロンの活動の紹介を掲載し、地域福祉の意識啓発を図った。	○

(1) 在宅生活の支援

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 :魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや
 基本目標 3 安全安心

事業評価
 ◎: 計画の目標を達成した
 ○: 概ね計画を達成した
 △: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業評価	評価の理由・課題																																																																						
(1) 地域コミュニティの推進	① 地域活動への参加促進	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送るためには、地域住民との交流が大切です。自治区や老人クラブ等の活動に参加することで、地域の人と顔の見える関係を築くことができ、孤立化や閉じこもりを防ぐこととなります。	概ね65歳以上の人	(高齢者支援福祉係課・環境振興住宅課・交通係)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流サロン事業実施(H29～) <ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業を実施した11自治区に加え、新たに6自治区が加わり計17自治区で実施予定。 ・サロン交流会の実施 ・サロン事業立ち上げ支援の実施 ・老人クラブ・自治区加入促進支援及び地域活動支援 ・地域交流サロン活動の啓発及び立ち上げ支援の継続を行い、参加自治区の拡大を図っていく。 ・老人クラブの活動が活性化するよう、老人クラブ連合会と協議を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆福祉課 高齢者支援係 <ul style="list-style-type: none"> ○地域交流サロン事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新たに7地区が開始となり、合計18地区で実施されている。10月にサロン交流会を開催し、18地区から合計49人が参加した。2月にサロン事業立ち上げ支援研修を開催し、4地区から15人が参加した。 ○老人クラブ <ul style="list-style-type: none"> ・会員670人、計18クラブ(29.4.1時点) ・4月から新たに花美坂老人クラブが設立し、運営に関する指導助言を行った。 ・加入者増と加入者減少対策について、老人クラブと必要な協議を行った。 ◆環境住宅課 地域振興・交通係 <ul style="list-style-type: none"> ・自治区加入促進活動として3・4月や「祭りあしや」で特設ブースを設置し、加入促進活動を実施した。 	○	<p>○評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆福祉課 高齢者支援係 <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流サロン活動の啓発及び立ち上げ支援を継続して行うことにより、実施自治区の拡大を図ることができた。 ・老人クラブの加入者増対策など必要な協議を行い、新規に花美坂老人クラブが設立されたため。 ◆環境住宅課 地域振興・交通係 <ul style="list-style-type: none"> ・加入促進活動を計画どおり実施することができた。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆福祉課 高齢者支援係 <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流サロン実施地区の課題を抽出し、事業が継続して行われるよう支援していく。 ・活動中止により2クラブが廃止になるなど、老人クラブ会員数の減少対策が必要である。 ◆環境住宅課 地域振興・交通係 <ul style="list-style-type: none"> ・自治区に加入してもらえるように、加入促進活動を継続的に実施していく。 																																																																					
	② 「愛の福祉町社会福祉協議会」推進事業	地域住民自らが、誰もが暮らしやすい地域にしていくことを目的として、ネットワークを作って高齢者の見守りや交流を行う事業で、社会福祉協議会が推進支援を行っています。	高齢者一般	芦屋町社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の見守り事業支援 ・地域支えあいマップ事業支援 ・交流事業支援 ・サロン事業支援 ・助成金交付 ・地域交流サロン実施地区への働きかけを継続していく。 ・共同募金事業を見直し資金が確保できるようにしていく。 ・人員を確保し、事務局体制の整備を行う。 ・開催自治区に対し、複数の事業を行うことへの負担を軽減するため、地域支えあいマップや交流会など単独で実施する。 	<p>「愛の福祉ネットワーク」推進事業</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>社協助成金</th> <th>見守り</th> <th>地域支えあいマップ</th> <th>交流事業</th> <th>サロン事業</th> <th>地域交流サロン(町)※参考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白浜区</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>はまゆう</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>江川台</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>船頭町</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>大城区</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>大君区</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(新)浜口</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(新)三軒屋</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(新)東町区</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流サロンを職員が訪問し「愛の福祉ネットワーク」推進事業の実施を支援した。 ・共同募金事業の見直しは、資金的に充足しているため実施しなかった。 ・嘱託職員を1人採用し、事務局体制の整備を行った。 ・複数事業をワンセットで実施していたが、地域支えあいマップを作成することから働きかけた。 	地区	社協助成金	見守り	地域支えあいマップ	交流事業	サロン事業	地域交流サロン(町)※参考	白浜区	○	○	○	○		○	はまゆう	○	○	○		○		江川台	○	○	○	○			船頭町	○	○	○	○		○	大城区	○	○	○	○		○	大君区			○	○		○	(新)浜口	○		○	○		○	(新)三軒屋	○		○	○		○	(新)東町区	○		○	○		○	○
地区	社協助成金	見守り	地域支えあいマップ	交流事業	サロン事業	地域交流サロン(町)※参考																																																																							
白浜区	○	○	○	○		○																																																																							
はまゆう	○	○	○		○																																																																								
江川台	○	○	○	○																																																																									
船頭町	○	○	○	○		○																																																																							
大城区	○	○	○	○		○																																																																							
大君区			○	○		○																																																																							
(新)浜口	○		○	○		○																																																																							
(新)三軒屋	○		○	○		○																																																																							
(新)東町区	○		○	○		○																																																																							

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 :魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや
 基本目標 3 安全安心

◎: 計画の目標を達成した
 ○: 概ね計画を達成した
 △: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業 評価	評価の理由・課題							
(2) 包括的支援	① 総合相談・支援	高齢者に関する福祉や保健、医療など各種相談を広く受け付けています。相談は、地域包括支援センター業務として支援するもの他、適切な機関やサービスにつながります。	高齢者及び家族等	福祉課 (高齢者支援係)	・幅広く相談を受け付け、関係機関と連携し、適切な相談窓口やサービスにつなげるよう支援を行う。また、支援が必要な人には、直接出向いてフォローを行う。 ・訪問時や介護予防事業者等の参加者に地域包括支援センターの周知を行う。 ・研修会の参加により自己研鑽し職員としてのスキルアップを図る。	総合相談	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>相談件数(件)</td> <td>199</td> </tr> </table> ・芦屋町民生委員・児童委員協議会定例会において地域包括支援センターのチラシを配布し、高齢者等の総合相談窓口である地域包括支援センターの周知を図った。 ・遠賀郡4町で連携し、地域包括支援センター職員サポート法律相談を4回実施した。	平成 29 年度	実績	相談件数(件)	199	○	○評価の理由 ・幅広く相談を受け付け、関係機関と連携を取り対応した。 ○課題 ・地域包括支援センターの周知と、職員の資質向上を図る必要がある。また、来訪者だけでなく支援が必要な人には、職員が直接訪問し、対応していく必要がある。	
	平成 29 年度	実績												
	相談件数(件)	199												
② 権利擁護事業	高齢者の人権や財産を守るために、高齢者に対する虐待の防止や成年後見制度利用の支援等を行います。	高齢者	福祉課 (高齢者支援係)	・虐待の早期発見に繋がるように虐待に関しての周知を広報紙等で行う。また、成年後見人制度についての周知も併せて継続していく。 ・新規配置者は研修を受講する。また、スキルアップ研修も積極的に参加する。 ・地域交流サロンなどを訪問し情報収集を行う。 ・社会福祉協議会など他機関と連携を図っていく。	権利擁護相談	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>虐待対応(疑い含む)(件)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>成年後見相談・支援(件)</td> <td>5</td> </tr> </table> ・10/1号の広報で虐待に関する周知を行った。 ・新規配置者は虐待対応研修に参加した。 ・地域交流サロンを訪問し、地域の実情を把握した。 ・虐待が疑われる事例については、民生委員と連携し対応した。	平成 29 年度	実績	虐待対応(疑い含む)(件)	3	成年後見相談・支援(件)	5	○	○評価の理由 ・虐待が疑われる相談には、社会福祉士、介護支援専門員、保健師の三職種で迅速に対応を行った。 ○課題 ・虐待対応の経験が少ない職員の資質向上が必要である。 ・高齢者の権利擁護について、周知をしていく必要がある。 ・問題を抱えているにも係わらず相談する人がいない人を把握するために、地域交流サロン等を訪問し情報収集していく必要がある。
平成 29 年度	実績													
虐待対応(疑い含む)(件)	3													
成年後見相談・支援(件)	5													
③ 包括的マネジメント	介護支援専門員が作成する高齢者の状況に応じた自立支援を目的とするケアプランについて、包括支援センターは医療機関を含む関係機関等との連携や、実施のための協力体制を整備して支援を行います。	介護支援専門員	福祉課 (高齢者支援係)	・介護支援専門員の相談支援を行う。 ・介護支援専門員へ対象者の自立を目的とした適切なケアプラン作成への支援が行えるよう、包括支援センター職員のスキルアップを図る。 ・対象者の自立支援のための、個別ケース会議の実施に向けた検討を進めていく。 ・地域ケア会議において、事例検討会を行う。	介護支援専門員からの相談	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>相談件数(件)</td> <td>10</td> </tr> </table> ・福岡県介護保険広域連合遠賀支部が開催したケアプラン研修を支援し、介護支援専門員のスキルアップを図った。 ・自立支援のための個別ケース会議実施に向け、研修会に参加し検討した。 ・地域ケア会議において、アルツハイマー型認知症の利用者に対するサービス導入と地域連携について事例検討を行った。	平成 29 年度	実績	相談件数(件)	10	○	○評価の理由 ・主任介護支援専門員が、介護支援専門員からの相談に対する支援を行った。 ○課題 ・介護支援専門員に対し、自立支援型ケアプラン作成への支援が必要である。		
平成 29 年度	実績													
相談件数(件)	10													

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 :魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや

基本目標 3 安全安心

事業評価
 ◎: 計画の目標を達成した
 ○: 概ね計画を達成した
 △: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業評価	評価の理由・課題									
(2) 包括的支援	④ 認知症高齢者とその家族への支援	認知症の人やその家族が、安心して在宅で生活ができるように、情報提供や認知症サポーターを養成しています。認知症高齢者等が徘徊行動等により行方不明になった場合に、折尾警察署を中心とした「はいかい高齢者SOSネットワーク」や、県の情報配信メール「防災メールまもるくん」を活用して、高齢者の早期発見・早期保護を図る取り組みをしています。	認知症高齢者とその家族	福祉課(高齢者支援係)	・自治区公民館体操教室の新規実施自治区で認知症サポーター養成講座を実施する。 ・出前講座の周知を広報や各体操教室行う。 ・徘徊が心配される人・家族へはいかいSOSネットワーク及び防災メールまもるくんへ登録をすすめる。 ・認知症地域支援推進員を設置していることを広報で周知する。 ・地域の見守りを進めるため、地域交流サロン事業で出前講座を周知する。 ・認知症初期集中支援チームを6月から設置する。 ・認知症家族の会の設立、運営に向けた支援を行う。	認知症サポーター養成 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>サポーター養成数(人)</td> <td>192人</td> </tr> </table> はいかい高齢者 SOS ネットワーク <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>登録者数(人)</td> <td>4</td> </tr> </table> ・自治区公民館体操教室の場だけでなく、団体からの要請で出前講座を実施し、前年度よりも多くの認知症サポーターの養成を行うことができた。 ・事業所連絡会やケアマネ、窓口での相談時に周知を行い、徘徊が心配される人・家族へはいかいSOSネットワーク及び 防災メールまもるくんへ登録をすすめた。 ・7/1号の広報で出前講座の周知をした。 ・6/1号の広報及びホームページで認知症地域支援推進員を設置していることを周知した。 ・2/3に行った地域交流サロン事業立ち上げ支援研修において、出前講座を周知した。 ・認知症初期集中支援チームを6月に設置した。 ・認知症家族の会の設立、運営に向けた支援を行った。	平成29年度	実績	サポーター養成数(人)	192人	平成29年度	実績	登録者数(人)	4	◎	○評価の理由 ・計画通りに認知症初期集中支援チームを設置した。地域包括支援センターでの対応により初期集中支援チームに依頼する案件はなかった。 ・認知症地域支援推進員については、1人が研修を受講し、計3人の配置となった。 ・はいかいSOSネットワークの登録者数は、全体で22人と少しずつではあるが増え、周知の成果であると思われる。 ○課題 ・認知症サポーター養成講座について、新たな年齢層や更なる団体の発掘が必要である。どのような団体での実施が可能かアイデア出しを行い、実施にむけた検討と調整を行う必要がある。 ・認知症地域支援推進員を中心に認知症相談の体制を充実させるために、認知症ケアパスの作成を行う必要がある。 ・はいかい高齢者等SOSネットワークへの登録を行うものの、防災メールまもるくん登録はメール配信により情報が広範囲にわたることに不安があり控える人が多いこと。
	平成29年度	実績														
	サポーター養成数(人)	192人														
平成29年度	実績															
登録者数(人)	4															
⑤ 地域ケア会議	個別ケース会議や介護サービス事業種別の事例検討会を開催し、多職種で専門的視点を交えて高齢者支援の検討を行います。また、会議での検討を重ねることにより、地域の共通の課題を把握します。	処遇困難ケース等の関係者 介護サービス事業者	(高齢者支援係) 福祉課	・地域ケア会議の開催により個別事例の解決を図るとともに地域の共通課題を把握していく。	・地域ケア会議として、事例検討会を1回開催し29人が参加し、個別ケース会議を1回開催し9人が参加、研修会を1回開催し26人が参加した。 ・自立支援型ケアプランに取り組む他自治体へ視察を行った。	○	○評価の理由 ・介護サービス事業者や個別ケースに係わる関係者などの参加により、参加者のスキルアップに繋がった。 ○課題 ・地域課題の抽出を行う。									
⑥ 在宅医療・介護の連携	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者に対し、医療機関と介護サービス事業者等の関係者が連携を図り、在宅医療と介護サービスを一体的に提供していきます。	在宅医療関係者 介護サービス関係者 包括支援センター	(高齢者支援係) 福祉課	・遠賀中間地域在宅医療介護連携推進協議会へ参加し、国が示す(ア)～(ク)※の事業について関係機関と協議し実施した。 ※在宅医療・介護連携推進事業 (ア)地域の医療・介護の資源の把握 (イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 (ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 (エ)医療・介護関係者の情報共有の支援 (オ)在宅医療・介護関係者に関する相談支援 (カ)医療・介護関係者の研修 (キ)地域住民への普及啓発 (ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携 ・遠賀中間医師会への事業委託を方針決定した。	◎	○評価の理由 ・遠賀中間地域の関係機関で連携して、(ア)～(ク)の事業を実施することができた。 ○課題 ・事業受託先である遠賀中間医師会との調整。										

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 :魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや

基本目標 3 安全安心

事業評価
 ◎: 計画の目標を達成した
 ○: 概ね計画を達成した
 △: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業評価	評価の理由・課題										
(3) 防災対策の充実 ① 高齢者のための防災体制の充実	災害等が発生した場合、身体機能が低下した高齢者等が円滑迅速に避難することができる体制づくりの一つとして、避難行動要支援者名簿を作成します。	①75歳以上で一人暮らしの人、又は、75歳以上の高齢者だけの世帯 ②介護保険で要介護1～5の認定を受けている人 ③身体障害者手帳保持者(ただし内部障がい1,2級所持者)	福祉課(高齢者支援係)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者名簿の年次更新 各自地区:30地区 民生・児童委員:26名 遠賀消防署 ・避難行動要支援者名簿情報管理者・取扱者へ対し個人情報保護研修会を行い、個人情報保護対策を講じる。(情報管理者・取扱者の新規の者は、各自地区で研修会を行う。) ・新規対象者へ避難行動要支援者名簿登録申請書を送付の際、自治区加入についてのチラシと一緒に送付するなど、自治区加入を推奨する。 ・個人情報保護研修会で災害時に備え共助の大切さについての意識づけを図る。 ・日頃からの見守り、共助や避難行動要支援者名簿や個別計画の必要性について広報あしや周知を行う。(6/1号) ・各自地区からの個別計画について支援を行う。 	平成 29 年度避難行動要支援者名簿作成 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>実績(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者</td> <td>1,934</td> </tr> <tr> <td>名簿登録同意者</td> <td>862</td> </tr> <tr> <td>名簿登録不同意者</td> <td>724</td> </tr> <tr> <td>同意・不同意回答なし</td> <td>348</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者名簿更新 6月 ・各自治区:30地区 ・民生・児童委員:26人(担当地区) ・遠賀消防署 ・個人情報保護研修会 3回開催延べ55人 ・個人情報保護研修会で個別計画の必要性について働きかけた。 ・広報あしやで、名簿の周知及び日頃からの見守り、個別計画の必要性について啓発した。(6月1日号) 		実績(人)	対象者	1,934	名簿登録同意者	862	名簿登録不同意者	724	同意・不同意回答なし	348	○	○評価の理由 ・災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者名簿の作成及び名簿を取り扱う者に対し、個人情報保護に対する対策(個人情報保護研修会)を講じた。 ○課題 ・各自治区で災害に備え平常時からの見守りや関係づくりを促し、個別計画の作成を働きかけること。
	実績(人)																
対象者	1,934																
名簿登録同意者	862																
名簿登録不同意者	724																
同意・不同意回答なし	348																

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 :魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや

基本目標 3 安全安心

事業評価
 ◎: 計画の目標を達成した
 ○: 概ね計画を達成した
 △: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業評価	評価の理由・課題	
(4) 介護基盤の整備	① 居宅サービスの充実	要介護・要支援認定者が、心身の状態にあわせたその人らしい自立した在宅生活を送るために、ケアマネジャーの計画のもと、ホームヘルプやデイサービス、ショートステイ、訪問看護、訪問リハビリなど介護保険サービスを受けるものです。	介護保険対象者及び介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)対象者	福祉課(高齢者支援係)	<ul style="list-style-type: none"> 事業者連絡会、地域ケア会議を開催する。 多様な介護予防・生活支援サービスの提供が出来るよう、関係機関と連携し受け皿づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者連絡会を2回開催し、事業者間の連携を図った。また、地域ケア会議を3回開催し、他職種による専門的視点で課題や対策を検討した。 第7期芦屋町高齢者福祉計画において、必要なサービスの検討を行った。 	○	<p>○評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議の開催や次期高齢者福祉計画の策定を通して、居宅サービスの充実に取り組んだ。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者連絡会、地域ケア会議で引き続き、サービス提供者の資質向上を図る必要がある。また、自立支援型のプラン作成に向けて、研修等に積極的に参加する。
	② 地域密着型サービスの充実	地域密着型サービスは、住み慣れた地域で、多様かつ柔軟なサービスを提供するもので、訪問通所サービス、認知症対応サービス、小規模施設サービスがあり、事業所や施設がある市町村(保険者)に住んでいる人の利用が基本となります。	介護保険対象者	福祉課(高齢者支援係)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き運営推進会議に出席し、地域に開かれた交流の図られた施設として運営できるように支援していく。 高齢者が安心して在宅生活を送るための必要なサービスについて、福岡県介護保険広域連合と調整を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地域密着型施設で定期的開催される運営推進会議に出席し、地域に開かれた施設として交流が図られるよう意見した。また、1施設の指定更新にあたり、広域連合職員の現地調査に同行し、施設運営状況を確認した。 ○町の地域密着型施設 <ul style="list-style-type: none"> 認知症対応型共同生活介護 3施設(グループホーム) 小規模多機能型居宅介護 1施設 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 1施設 地域密着型通所介護 1施設 第7期芦屋町高齢者福祉計画を策定し、夜間や緊急時にも在宅で医療と介護が一体的に提供される定期巡回・随時対応型訪問介護看護の必要性を位置付け、福岡県介護保険広域連合及び県に整備意向を示した。 	○	<p>○評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議等を通じて、地域に開かれた施設として、運営できるよう適切に支援できたため。 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護が、計画期間内に整備意向を認められたため。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅生活者支援のための基盤整備は方向性を定めたが、引き続き在宅医療と介護の連携の取り組みを進めていくこと。
	③ 施設サービスの充実	介護保険の施設サービスは、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の3種類があり、いずれの施設も町内に設置されています。入所者は、一定以上の介護の認定があり、自宅での介護が難しい人等で、食事・入浴・排せつ等の介護、機能訓練、健康管理等のサービスが提供されます。	介護保険対象者	福祉課(高齢者支援係)	<ul style="list-style-type: none"> 今後の高齢化の進行などを考慮し、施設待機者を把握する。 施設入所待機者の実態を把握し、将来の需要などを判断して必要があれば、各種事業計画に反映させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 第7期芦屋町高齢者福祉計画期間内に施設整備を要しないこととした。 	○	<p>○評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設入所待機者、現状のサービス量及び将来サービス見込量を把握し、第7期芦屋町高齢者福祉計画を策定したため。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> サービスの必要性和給付水準のバランスをとる必要がある。

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 :魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや
基本目標 4 気力充実

事業評価
◎: 計画の目標を達成した
○: 概ね計画を達成した
△: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業評価	評価の理由・課題										
(1) 生きがいづくりの支援	① 敬老祝金	多年にわたり社会に貢献してきた高齢者の長寿を祝い、70歳、77歳、88歳及び100歳の人に、それぞれの年齢に応じた敬老祝金を支給しています。	福祉課(高齢者支援係)	目標: 給付率100% (平成28年度給付率99%のため) ・平成29年度から町内商工振興のため、現金支給から商工会商品券による支給へ変更する。 ・本年度は現行どおり実施するが、引き続き、必要な検討は進める。	敬老祝金受給者 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>実績(人)</th> </tr> <tr> <td>70 歳</td> <td>237</td> </tr> <tr> <td>77 歳</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>88 歳</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>100 歳</td> <td>5</td> </tr> </table> ・対象者517人 給付者509人 給付率98.45%	平成 29 年度	実績(人)	70 歳	237	77 歳	193	88 歳	74	100 歳	5	○	○評価の理由 ・事業対象者に対して、各種規定に基づいて敬老祝金を支給した。また、祝金を芦屋町商工会商品券で支給することにより、町内経済の活性化にも寄与した。 ○課題 ・平均寿命が男女とも80歳を超え、今後の将来推計人口からも町財政を考慮したうえで検討を行う必要がある。
	平成 29 年度	実績(人)															
	70 歳	237															
	77 歳	193															
88 歳	74																
100 歳	5																
② 敬老会	多年にわたり社会に貢献してきた高齢者(70歳以上)の長寿を祝うため、式典及びアトラクションを実施し、記念品を贈呈します。	年度中(4月2日から翌年4月1日)に満70歳以上となる人で、その年の9月1日現在、芦屋町に居住している人	福祉課(高齢者支援係)	・敬老会開催日(曜日の変更)を行い内容などを検討する。	敬老会 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>来場者数(人)</td> <td>561</td> </tr> </table> ・参加者、運営ボランティアのアンケート結果により開催日を土曜日にし、前年度比55人の参加者増となった。 ・敬老会不参加者アンケートを実施し、対象者の意見を把握した。	平成 29 年度	実績	来場者数(人)	561	○	○評価の理由 ・参加者等の意見を反映し、参加者増に繋げることができたため。 ○課題 ・参加者が事業対象者の2割以下にとどまっており、更なる広報や魅力的なイベントにするための検討が必要である。						
平成 29 年度	実績																
来場者数(人)	561																
③ 高齢者能力活用事業の充実	社会福祉協議会に委託して事業を実施しています。高齢者の豊富な経験や能力を生かして、植木の手入れ、大工仕事、清掃など幅広い分野でその能力や技術が発揮できる場を提供するものです。 働く意欲を持つ高齢者がこの事業に登録することで、自身の持つ経験や能力を発揮できるよう支援しています。	高齢者	福祉課(高齢者支援係)	・広報やホームページで高齢者能力活用事業について周知する。 ・ポスターの掲示など新たな周知を検討し、登録者が増えるように取り組んでいく。 ・業務、職種、内容の見直しなど検討していく。	高齢者能力活用事業 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>登録者数(人)</td> <td>80</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>就労者延べ数(人)</td> <td>9,920</td> <td>4,443</td> </tr> </table> ・登録者募集について、広報及びホームページで周知したが、新たな登録者増に繋げる取り組みはできなかった。 ・業務、職種、内容の見直しに関する調査研究を行った。	平成 29 年度	目標	実績	登録者数(人)	80	63	就労者延べ数(人)	9,920	4,443	△	○評価の理由 ・高齢者に就労機会を提供するという目的は達成したが、実績数値が目標に届かなかった。 ○課題 ・民間事業者との競合に注意しながら、高齢者が活躍できる業種の拡大等を図っていく必要がある。 ・就労者増等に向け、委託先である社会福祉協議会と協議していく必要がある。	
平成 29 年度	目標	実績															
登録者数(人)	80	63															
就労者延べ数(人)	9,920	4,443															
④ 高齢者集いの場の整備	老人憩の家は山鹿荘、寿楽会館、鶴松荘と、各小学校区に1か所ずつ高齢者の心身の健康の増進を図ることを目的として設置されています。高齢者の趣味活動や入浴の場として利用され、毎月保健師による健康相談を実施しています。	60歳以上	福祉課(高齢者支援係)	・住民アンケートの結果を踏まえ、老人憩の家の整備方針を策定する。	老人憩の家 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>43,000</td> <td>38,418</td> </tr> <tr> <td>1日あたりの利用者数(人)</td> <td>150</td> <td>126</td> </tr> </table> ・第6期芦屋町高齢者福祉計画期間中に整備の検討を行うこととしていたが、整備方針の策定には至らなかった。	平成 29 年度	目標	実績	利用者数(人)	43,000	38,418	1日あたりの利用者数(人)	150	126	△	○評価の理由 ・第6期高齢者福祉計画及び芦屋町公共施設等総合管理計画で検討することが位置づけられていたが、方針策定に至っていないため。 ○課題 ・老人憩の家3施設とも建設から40年を経過し、施設の老朽化もみられるため、対応が必要である。	
平成 29 年度	目標	実績															
利用者数(人)	43,000	38,418															
1日あたりの利用者数(人)	150	126															

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 :魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや

基本目標 4 気力充実

事業評価

◎: 計画の目標を達成した
○: 概ね計画を達成した
△: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業評価	評価の理由・課題					
(2) ボランティア活動などの支援	① ボランティア活動などの支援	高齢者	芦屋町社会福祉協議会・生涯学習課(社会教育係)	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会福祉協議会ボランティア連絡協議会「手をつなぐリボンの会」の支援を行って行く。 <ul style="list-style-type: none"> ・助成金の交付 ・定例会への参加 ・研修会や行事等の支援 ◆ボランティア活動センター <ul style="list-style-type: none"> ・第2次ボランティア活動推進計画の策定及び計画を推進していく。 ・社会福祉協議会はじめ、ボランティア関係団体との連携調整をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会福祉協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・手をつなぐリボンの会への助成金の交付 ・定例会への職員の参加(月一回) ・研修会参加支援 <ul style="list-style-type: none"> 中間遠賀ボランティア研修 24人 福岡きずなフェスティバル 16人 ・リボンの会会員 8団体、290人(H29.5.30時点) ◆ボランティア活動センター <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア関係団体と関係機関とのマッチングを行った。 ・ワールドカフェを計3回開催し、団体間の交流を図った。 ・ボランティア活動センター登録数 団体:60、個人:30(平成29年度末) 	○	<p>○評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆社会福祉協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度計画は、概ね達成しているため。 ◆ボランティア活動センター <ul style="list-style-type: none"> ・登録数は増加している。 ・予定していた事業を計画どおり実施した。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆社会福祉協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア組織の高齢化に対する対応が必要。 ◆ボランティア活動センター <ul style="list-style-type: none"> ・活動者年齢が高齢化しており、活動が困難になってきている団体への支援が必要である。 					
	② 老人クラブ活動の支援	高齢者	福祉課(高齢者支援係)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会・盆踊り・芋堀りなど老人クラブ活動に対する、財政支援・人的支援 ・加入促進に対する相談支援 ・老人クラブ未設置地区への働きかけを行う。 ・老人クラブが活動が活性化するように、老人クラブ連合会と協議を行っていく。 	<p>老人クラブ</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老人クラブ数(クラブ)</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>会員数(人)</td> <td>672</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会をはじめとした老人クラブ活動に対し、財政支援、人的支援を行った。 ・会員数の減少及び新規会員増の取り組みを老人クラブと協議した。 ・老人クラブとともに老人クラブ未設置地区に対する働きかけを行ったが、新規立上げには至らなかった。 ・老人クラブの新たな事業である体力測定会の実施にあたり、指導助言を行った。 	平成 29 年度	実績	老人クラブ数(クラブ)	18	会員数(人)	672	○
平成 29 年度	実績											
老人クラブ数(クラブ)	18											
会員数(人)	672											

芦屋町高齢者福祉計画【H29】評価シート

理念 高齢者福祉計画理念 :魅力を活かし みんなでつくる 元気なあしや
 基本目標 4 気力充実

事業評価
 ◎: 計画の目標を達成した
 ○: 概ね計画を達成した
 △: 計画どおりに実施できなかった

事業	内容	対象	所管課(係)	平成29年度 計画	H29取組結果・実績 (具体的に記載のこと)	事業評価	評価の理由・課題																											
(3) 生涯学習の充実	① 公民館活動の活性化	高齢者	(公民館・生涯学習課文化係)	・広報活動に努め、新規参加者の増加を促す。	祖父母学級 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>目標</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>加入者数(人)</td> <td>200</td> <td>158</td> </tr> </table> ・3校区で年間のべ627人の活動への参加があった。	平成29年度	目標	実績	加入者数(人)	200	158	○	○評価の理由 ・学級生の自発的な活動の企画や、地域の子もたちとの交流など、高齢者の健康増進のためにふさわしい活動となったため。 ・知識向上のための各種講座や社会見学、地域の幼児や小学生との交流を通じた活動など、仲間づくりや生きがいづくりの場となった。 ○課題 ・学級生の固定化と、新規学級生の発掘																					
	平成29年度	目標	実績																															
	加入者数(人)	200	158																															
	② スポーツ活動の充実	高齢者	(社会教育係・生涯学習課高年齢者福祉支援係)	・町内グランドゴルフ大会 ・芦屋町スロートレーニング講座 ・APヨガ講座 ・ウォーキング講座 ・参加者アンケートなどでニーズ調査を行う。	各種スポーツ行事 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td></td> <td>大会</td> <td>町内グランドゴルフ</td> <td>芦屋町スロートレーニング講座</td> <td>芦屋町スロートレーニング講座</td> <td>ポールウォーキング講座</td> <td>芦屋町</td> <td>体力運動能力測定</td> <td>やってみませんか?</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>参加人数(人)</td> <td>180</td> <td>43</td> <td>27</td> <td>中止</td> <td>荒天</td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>年回数(回)</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> </table> ◆生涯学習課 社会教育係 ・町民体育祭において、高齢者から子どもまで参加しやすいプログラム内容を検討・実施した。 ・老人クラブの体力測定を出前講座として、実施した。また、ウォーキング大会の実施にあたり、スポーツ推進委員を派遣し、事業支援を行った。 ◆福祉課 高齢者支援係 ・老人クラブが実施するスポーツ大会の人的支援を行った。			大会	町内グランドゴルフ	芦屋町スロートレーニング講座	芦屋町スロートレーニング講座	ポールウォーキング講座	芦屋町	体力運動能力測定	やってみませんか?	H29	参加人数(人)	180	43	27	中止	荒天	50			年回数(回)	1	3	3			1		◎
		大会	町内グランドゴルフ	芦屋町スロートレーニング講座	芦屋町スロートレーニング講座	ポールウォーキング講座	芦屋町	体力運動能力測定	やってみませんか?																									
H29	参加人数(人)	180	43	27	中止	荒天	50																											
	年回数(回)	1	3	3			1																											
③ 文化活動の促進	一般	(公民館・生涯学習課文化係)	・引き続き、郷土史研究会や伝統芸能継承団体(はねそ保存会)への活動支援を行う。 ・伝統芸能継承団体(はねそ保存会)の活動を知ってもらえるよう、はねそ盆踊り等の活動周知を図る。	・文化協会や郷土史研究会、はねそ保存会への財政支援を行うとともに、各種行事における人的支援を行った。	○	○評価の理由 ・文化協会や郷土史研究会、はねそ保存会の運営や活動の支援を行い、支障なく開催できたため。 ○課題 ・それぞれの団体の高齢化は急速であり、会員数の減少や固定化の対策が必要である。																												
④ 世代間交流の推進	一般	(高齢者福祉支援係・生涯学習課社会教育係)	・自治区活動や社会福祉協議会による世代間交流事業を継続する。 ・ぼらんていあキッズ施設訪問(イベント補助)5回予定 ・各訪問する事業所との調整を行っていく。	◆生涯学習課 社会教育係 ・ボランティアキッズが高齢者施設を訪問し、話し相手及び作業支援、レクリエーション、イベント補助等の活動を通じて世代間の交流を行った。 平成29年度 5回 ◆福祉課 高齢者支援係 ・老人クラブの主催事業の長寿園芋ほりにあたり、事業支援を行った。	◎	○評価の理由 ・ボランティア活動を通じて世代間交流を行ったため。 ○課題 ・活動人数の確保、事業内容の検討。																												